

2023年度（令和5年度）

## 福島県退職教職員互助会の主な事業・活動の報告

### 1. 公益目的支出計画として実施する公益事業

福島県退職教職員互助会は、2014年度の一般財団法人への移行に伴い、当互助会の「公益目的財産額」に基づき毎年計画的に公益事業を実施し、その支出額についての報告が義務付けられています。

2023年度も公益目的の継続事業として、へき地校等への図書贈呈事業、教育研究・講演会等への助成事業、文化公演事業を実施しました。

#### (1) へき地校等の児童・生徒への図書贈呈などの助成事業

公立小・中学校のへき地校(2級地以上)及び、県立特別支援教育諸学校の分校等に図書の贈呈を行いました。対象校の希望により、図書カードまたは書籍本による贈呈を選択できるようにしました。

- ・贈呈校数 27校（小学校12校 中学校7校 特別支援学校8校）
- ・対象児童生徒数 663人
- ・交付金額 593,618円

#### (2) 県内教育団体の教育研究・教育講演会等への助成

- NPO法人3・11子ども文庫「にじ」
- 福島県公立学校退職校長会

#### (3) スクールコンサート等の文化公演事業

小・中・県立学校でのスクールコンサートを中心に、教育・福祉団体などを対象に文化公演事業を実施しています。2023年度も、文化公演（スクールコンサート）事業は、「長谷川音楽事務所」に委託をして行いました。

#### <2023年度年スクールコンサート>

- ・小学校4校、
- ・中学校4校
- ・県立学校4校  
(高校1校・特別支援学校3校)
- ・一般1団体



県立だて支援学校での公演の様子

(2023年6月6日)

## <子どもたちの感想>

わたしは、長谷川ファミリーのみなさんが来る日を楽しみにしていました。

えんそう会はすごく心にのこりました。えんそうもバレエもすごくよかったです。楽器にもきょうみが出てきました。わたしは、バレエも習っているけど、もっときょうみが出てきました。

「トゥモロー」も楽しかったです。すてきなえんそうありがとうございました。

(小学校三年生)

わたしは「音楽」と聞くと、今どきの歌やアイドルグループなど、人が歌って踊るということぐらいしかなかったけど、今日のコンサートを聴いてすごいなと思いました。1つの楽器から50～70音ぐらい様々な音色が聞こえ、演奏中のバレエの動きや服の色で、頭の中でその音にあった情景がたくさん出てきました。これが音楽の魅力なんだなあ～と改めて実感することができました。これからもたくさん聴いて音楽にたずさわってほしいと思います。

(中学1年生)

長谷川ファミリーの皆さん、本日は素晴らしい演奏を聴かせていただきありがとうございました。今まで、コンサートというものを見た経験があまりなかったのですが、演奏が始まった瞬間に体の中からゾワッとするような感覚になって、大変感動しました。楽器の音量バランス、そしてハーモニーが響き渡るのがすごいと思いました。

今までより、音楽を好きになれました。今後の活動も頑張ってください。(高校生)

### (4) 2023年度 公益目的支出計画の実施状況報告

#### 2023年度 公益目的支出計画の実施状況報告

1. 公益目的財産額（算定日2014年3月31日）	1,440,910,784円
2. 2023年度の公益目的支出総額	8,974,110円
3. 2023年度末までに支出した公益目的財産の総額	92,102,538円
(1) 2014～22年度までに支出した支出総額	83,128,428円
(2) 2023年度に支出した支出額	8,974,110円
4. 2024年度以降に支出すべき公益目的財産の残額	1,348,808,246円

## 2. 全国教職員互助団体協議会(全教互)の署名活動への参加

全教互(全国教職員互助団体協議会)の「年金・医療・介護等の社会保障制度の確立等を求める」陳情署名活動に、毎年ご協力いただき大変ありがとうございます。

この署名は、教職員互助団体が、1972年(昭和47年)から、毎年行っているものです。この署名により、様々な改善がなされ、今日に至っています。

社会を取り巻く情勢は毎年変化しています。社会保障制度についても、社会情勢の変化に対応して、私たちの生活にとって安心が保証されるものになるよう、毎年この陳情署名活動が行われています。

2023年度は、**16,531筆** が集まりました。

(全国 382,771筆)

会員の皆様の取り組みに感謝いたします。

全国で集められた署名は、11月16日に国会議員会館で、各県選出の国会議員(金子恵美衆議院議員・玄葉光一郎衆議院議員・馬場雄基参議院議員・小熊慎司衆議院議員)に手渡し、社会保障の財源確保と互助会事業の重要性を訴えてきました。

<要請した内容>

- 現役世代及び退職者の社会保障費の削減、保険料の負担増につながらないように財源の確保を行っていただきたい。
- 教職員がゆとりをもって教育に専念できるよう、また、退職者が生きがいと安心をもって日々の生活を送れるよう、教職員に対する福利厚生が安定してできるための教育互助団体への支援や制度設計への配慮をお願いします。
- 教職員の負担を軽減し、教育に魅力とやりがいを感じ、子どもたちの豊かな学びを保証するために、教育環境の整備、教職員の定数増等、教育予算の増額、教職員の働き方改革における実効性のある改善をお願いします。



全ての世代が将来にわたって信頼できる年金・医療・介護等の  
社会保障制度の確立等に関する請願

陳情・要請行動を通して、この陳情署名の内容の一部が請願として衆議院厚生労働委員会に付託され、第213通常国会(6月7日)で採択され、内閣に送付されました。

- 1 医療・年金・介護等が必要な人々に保障されるよう、世代間で協調できる給付と負担のバランスを整えること。
- 2 社会保障制度の財源は経済成長により安定した収入を確保することが必要であり、制度の体系的な見直しに当たっては経済対策と一体的に取り組むこと。

### 3. 会員状況

#### <2023年度末会員数>

区分	2023年度	2022年度
現職会員	5,276	5,808
退職会員	13,461	13,471
退職者会員の配偶者	5,532	5,862
合計	24,269	25,141

### 4. 医療給付事業の報告

2023年度も「退職後の医療費の自己負担分の給付」事業を中心にして会の運営を行ってきました。給付実績は下記のとおりです。

	2023年度		2022年度	
	件数	給付額(円)	件数	給付額(円)
<b>一般医療給付</b>	<b>53,529</b>	<b>140,136,300</b>	<b>50,878</b>	<b>141,220,100</b>
うち、会員	43,860	114,708,700	41,217	114,177,300
うち、配偶者	9,669	25,427,600	9,661	27,042,800
<b>高齢者医療給付</b>	<b>14,650</b>	<b>40,929,900</b>	<b>15,397</b>	<b>40,272,600</b>
うち、会員	10,694	30,461,300	10,695	28,191,900
うち、配偶者	3,956	10,468,600	4,702	12,080,700
<b>老人医療給付</b>	<b>30,277</b>	<b>110,274,000</b>	<b>33,007</b>	<b>117,670,200</b>
うち、会員	21,713	80,833,800	23,693	87,396,800
うち、配偶者	8,564	29,440,200	9,314	30,273,400
<b>合計</b>	<b>98,456</b>	<b>291,340,200</b>	<b>99,282</b>	<b>299,162,900</b>

※ 退職会員区分について

	該当年齢	
一般	45歳以上	70歳未満
高齢者	70歳以上	75歳未満
老人	75歳以上	

## 5. 2023年度の収支の状況について

### 【事業活動収入】

(単位：円)

区 分 科 目	2023年度決算額 金額 (A)	2022年度決算額 金額 (B)	増 減 (A-B)
基本財産運用益	1,864	1,864	0
会員掛金収入	270,906,958	296,612,748	-25,705,790
特定資産運用益	132,620,772	149,899,697	-17,278,925
雑収入	14,150	12,370	1,780
<b>当期収入合計</b>	<b>403,543,744</b>	<b>446,526,679</b>	<b>-42,982,935</b>

### 【事業活動支出】

<b>事業費</b>	<b>547,804,897</b>	<b>578,939,222</b>	<b>-31,134,325</b>
公益事業費	4,580,158	4,673,618	-93,460
福祉事業費	14,201,412	15,097,204	-895,792
福利厚生事業費	516,910,717	547,014,555	-30,103,838
事業管理費	12,112,610	12,153,845	-41,235
<b>管理費</b>	<b>69,548,308</b>	<b>72,305,595</b>	<b>-2,757,287</b>
会議費、広告宣伝費	3,262,165	3,191,235	70,930
人件費	52,346,585	51,505,776	840,809
事務費	13,939,558	17,608,584	-3,669,026
<b>当期支出合計 (事業費と管理費の合計)</b>	<b>617,353,205</b>	<b>651,244,817</b>	<b>-33,891,612</b>
<b>当期収支差額</b>	<b>-213,809,461</b>	<b>-204,718,138</b>	<b>-9,091,323</b>

### 【投資活動収支】

科 目	2023年度決算額 金額 (A)	2022年度決算額 金額 (B)	増 減 (A-B)
大科目          中科目			
<b>1. 投資活動収入</b>			
<b>特定資産取崩収入</b>	<b>852,994,860</b>	<b>55,081,890</b>	<b>797,912,970</b>
①退職給与引当資産取崩収入	57,994,860	55,081,890	2,912,970
②投資有価証券売却収入	790,000,000	360,000,000	430,000,000
③投資有価証券売却収入	5,000,000	0	5,000,000
<b>投資活動収入計</b>	<b>852,994,860</b>	<b>55,081,890</b>	<b>797,912,970</b>
<b>2. 投資活動支出</b>			
<b>特定資産取得支出</b>	<b>60,681,046</b>	<b>57,994,860</b>	<b>2,686,186</b>
①退職給与引当資産取得支出	60,681,046	57,994,860	2,686,186
<b>固定資産売却支出</b>	<b>12,995,400</b>	<b>0</b>	<b>12,995,400</b>
①ソフトウェア取得支出	12,995,400	0	12,995,400
<b>投資活動支出計</b>	<b>73,676,446</b>	<b>57,994,860</b>	<b>15,681,586</b>
<b>投資活動収支差額</b>	<b>779,318,414</b>	<b>-2,912,970</b>	<b>782,231,384</b>

### 【繰越収支差額】

<b>当期収支差額</b>	<b>565,508,953</b>	<b>-207,631,108</b>	<b>773,140,061</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>299,250,428</b>	<b>145,572,536</b>	<b>153,677,892</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>864,759,381</b>	<b>-62,058,572</b>	<b>926,817,953</b>